

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	外国語(英語)	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	病院内で使用されると思われる、外国語を学び患者とコミュニケーションをとれるようにする
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	臨床で使用する外国語をみにつける
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	基本的な単語を使用した簡単な会話を身に着ける 医療会話を学び、検査に関わる会話を覚える
授業担当者	小林昌人	
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	English for Manners and Hospitality (鷹書房弓プレス)	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	自己紹介	英語で簡単に自己紹介できるようにする
2	相手を知る	眼科で受け付け対応ができるようにする
3	病院案内	病院内の案内ができるようにする
4	身体の部位と痛み	身体の部位の名称を覚える 身体の痛みの説明ができるようにする
5	病気と症状	病気と症状が伝えられるようにする
6	既往歴	病気の名称を覚え、既往歴を尋ねることができるようにする
7	患者への指示	診察や検査時に患者に指示をつたえることができるようにする
8	バイタルサイン	バイタルサインを測定できるようにする
9	処置	患者に処置の説明ができるようにする
10	眼科での検査	眼科で患者に検査を説明できるようにする
11	会計	医療費を説明できるようにする
12	薬について	薬について説明できるようにする
13	眼の検査	眼科検査で使われる単語を覚える
14	視力の検査	視力検査の流れが説明できるようにする
15	テスト	テストを行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	人間発達学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	人間発達の正常過程を理解する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	ヒトの誕生から死に至るまで続く発達と変化を、解剖生理的、心理的な面などから、正常過程を理解した上で、視能訓練士として、対象者の理解をできるよう学習する
授業回数	8回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	誕生から死に至るまで続く発達と変化を、理解できている
授業担当者	本多 祥子	
実務家教員	○	総合病院における看護師としての実務経験
使用テキスト 参考文献		
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	発達段階について	発達段階の概要について理解する
2	新生児・乳幼児について	新生児・乳児期の発達について理解する
3	児童期について	児童期の発達について理解する
4	青年期について	青年期の発達について理解する
5	成人期について	成人期の発達と課題について理解する
6	中年期について	中年期の発達と課題について理解する
7	高齢期・老齢期について	高齢期・老齢期の発達と課題について理解する
8	テストと解答解説	テストと解答解説を行う

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	薬理学概論	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・基本的な薬剤の作用機序と効果、および副作用を理解し、臨床に役立てる。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・疾病の治療には、手術などの観血的治療法以外に薬物治療が行われる。また、眼科では検査のための薬剤も投与される。この講義では、視能訓練士として必要な基本的な薬剤の作用機序と効果、および副作用を理解することを目標とする
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・視能訓練士において業務上必要な、アトロピン、シクロペントレートなどの点眼剤の知識について確実に習得する。 ・眼科治療薬、検査薬、機能訓練で使用される薬の薬理作用、副作用、使用禁忌について理解することができる。
授業担当者	永野 繁光	
実務家教員	○	総合病院・調剤薬局における薬剤師としての実務経験
使用テキスト 参考文献	点眼薬クリニカルブック第2版(金原出版株式会社)	
評価方法	授業態度、出席状況および学期末試験の成績で総合評価する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	薬理学総論	薬理学とは、歴史、ホメオスタシス、医薬品の定義、医薬品分類、医薬品法令等、主作用と副作用
2	基礎薬理学①	単位、分配係数、細胞、細胞膜、脂質二重層、ADME、局所作用・全身作用、血中濃度、
3	基礎薬理学②	神経細胞、自律神経とは、末梢神経とは、自律神経の作用、薬理作用、添付文書
4	基礎薬理学③	受容体、トランスポーター、自律神経薬物の作用機序
5	交感神経	交感神経刺激薬、交感神経遮断薬(ジピペフリン、チモロール)
6	副交感神経	副交感神経刺激薬、副交感神経遮断薬(ピロカルピン、アトロピン)
7	散瞳と縮瞳	抗コリンエステラーゼ薬、散瞳薬と縮瞳薬
8	緑内障①	緑内障治療ガイドライン 抗緑内障薬( $\beta$ 遮断薬、 $\alpha$ 作動薬)
9	緑内障②	抗緑内障薬(プロスタグランジン、Rho受容体作動薬)
10	白内障	白内障治療ガイドライン 抗白内障薬(ピレノキシン グルタチオン)GEIについて
11	眼疾患	角膜、結膜囊に起因する疾患 角膜保護剤 Horner症候群、Adie症候群
12	炎症、痛み	アラキドン酸カスケード、抗炎症薬、抗アレルギー薬
13	感染症	感染症、抗生物質、抗ウイルス薬、抗真菌薬
14	消毒薬・検査薬	滅菌、消毒薬、検査薬、麻酔薬、造影剤
15	まとめ	演習問題

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	全身疾病学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士が眼科検査で関わる全身疾患を、詳しく習得する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	眼科に関わりのある、全身疾患・症候群を理解し、眼科検査をするときに役立てるように学習する
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	眼に影響を及ぼす全身疾患、症候群を理解し、検査・治療なども理解する
授業担当者	本多 祥子	
実務家教員	○	総合病院における看護師としての実務経験
使用テキスト 参考文献	プリント配布	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	循環器疾患について	循環器系疾患(高血圧・動脈硬化)
2	糖尿病と眼疾患	糖尿病と眼疾患についての関連を学習する
3	血液疾患	血液疾患(貧血・白血病)
4	内分泌疾患	内分泌疾患(甲状腺など)
5	脳血管障害、脳出血、脳梗塞	脳血管障害、脳出血、脳梗塞について視機能の障害と関連を学習する
6	小児の発育と発達	小児の発育と発達(形態発達、運動、言語、情緒など)
7	先天異常、染色体異常、先天奇形	先天異常、染色体異常、先天奇形と眼疾患の関連について学習する
8	新生児疾患	新生児疾患(未熟児、分娩時異常、感染症など)と眼疾患の関連について学習する
9	代謝性疾患	代謝性疾患(糖尿病、肥満、小児生活習慣病など)と眼疾患と関連について学習する
10	内分泌疾患	内分泌疾患(下垂体疾患、甲状腺疾患など)と眼疾患の関連について学習する
11	感染症疾患	感染症疾患(ウイルス感染症、細菌感染症など)と眼疾患の関連について学習する
12	アレルギー疾患	アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、薬物アレルギー)と眼疾患の関連について学習する
13	血液疾患、腫瘍疾患	血液疾患、腫瘍疾患(網膜芽細胞腫)と眼疾患の関連について学習する
14	眼疾患を伴う小児疾患と症候群1	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について学ぶ
15	眼疾患を伴う小児疾患と症候群2	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について学ぶ

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視能訓練士の役割	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士業務を行う上での関係法規を知ること、現場で活躍できる人材を育成する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期・後期	視能訓練士法を中心に、視能訓練士業務に必要な関係法規(角膜移植法、臓器移植法、学校保健法など)を学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	視能訓練士として業務を行う際に必要とされる医事法の基本概念を説明できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、専門医のための眼科診療クオリファイ眼科診療と関係法規(中山書店)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	医療関係者の法	・視能訓練士法
2		・視能訓練士法
3		・視能訓練士法
4		・診療録の記録方法と開示請求
5	医薬品医療機器等法とコンタクトレンズ	・治験の実施基準 ・コンタクトレンズの処方と販売
6	角膜移植と臓器移植法	・角膜移植の関連法 ・眼球摘出の条件と制限 ・アイバンクの役割 ・脳死と臓器移植
7	眼科と公衆衛生に関する法律	・母子保健法 ・学校保健安全法 ・感染症と予防衛生法規
8	視能訓練士の役割(イギリス編)	【リモート授業】10月2日 19:00~20:30 イギリスの視能訓練士に聞く視能訓練士の役割 ゲスト: レヴァン 奈津美 さん
9	医療保障制度	・老人保健法と高齢者医療確保法
10		・眼科領域の保険診療(検査・処方・手術)
11		・斜視弱視と児童福祉法
12		・高齢者の医療の確保に関する法律(旧 老人保健法)
13		・視覚障害者と身体障害者福祉法
14	今後の視能訓練士	・視能訓練士とタスクシフト
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2024/4/1
科目名	ロービジョン学	
年度	2024年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼科医療現場での、視能訓練士がどのように患者の問題解決に関与できるか理解し、ロービジョンケアに必要な知識を習得する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	ロービジョンの基礎を学び、実際にどのように視能訓練士が関わっていくのか理解し、どのような道具が使用されて、ロービジョンに対応しているかも学ぶ
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	ロービジョンケアに必要な基礎知識と臨床的知識を理解する
授業担当者	太田 陸	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学(文光堂)、プリント配布	
評価方法	授業態度、出席率、テストによる総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	障がいの定義	ロービジョン者の見え方を知る
2	視覚障害の定義と範囲1	視力の評価
3	視力障害の定義と範囲2	視野の評価
4	視力障害の定義と範囲3	重複障害の評価、その他障害の基準
5	ロービジョンの定義と範囲	眼科におけるロービジョンのサービス 生活への応用
6	視覚補助具1	光学的補助具の倍率1
7	視覚補助具2	光学的補助具の倍率2
8	視覚補助具3	手持式拡大鏡
9	視覚補助具4	卓上式拡大鏡
10	視覚補助具5	単眼鏡
11	遮光眼鏡	遮光眼鏡について知る
12	非光学的補助具	補助具・日常生活用具
13	ロービジョンに関する計算	ロービジョンに関する計算を習得する
14	ロービジョンケアの実際	ロービジョンケアの実際について学習する
15	テスト	テストを行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎視能矯正学演習2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・調節力について理解し、近見視力を測定することが出来る。 ・屈折矯正法について学ぶ。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	・近見視力を測定測定し、近用眼鏡度数を求める。 ・コンタクトレンズの度数換算し、処方度数の決定を行う。
授業回数	15回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	・調節力について理解し、近見視力を測定することが出来る。 ・眼鏡処方、コンタクトレンズ処方で適切な度数を求めることができる。 ・眼鏡からコンタクトレンズへの度数変換を行うことができる。
授業担当者	☆太田 陸 佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第3版(文光堂) 屈折異常とその矯正 改訂第7版(金原出版)	
評価方法	課題提出、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	近見視力検査	・近見視力の測定、記載法について学ぶ ・老視について学ぶ
2		
3	近用眼鏡 (処方)	・近用眼鏡の処方について学ぶ
4		
5	コンタクトレンズ	・コンタクトレンズの度数換算について学ぶ ・コンタクトレンズのフィッティングについて学ぶ  ・コンタクトレンズの着脱を行う ・コンタクトレンズの処方度数を求める
6		
7		
8		
9	遠近両用眼鏡 (処方)	・遠近両用眼鏡の処方について学ぶ
10		
11	眼鏡処方 コンタクトレンズ処方 (実技)	ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。  15コマ目までにレポートを提出(レポートが未提出の場合、筆記試験は受験不可となります。)
12		
13		
14		
15	筆記試験	・筆記試験とそのまとめを行う。

科目名	基礎視能矯正学3(眼鏡)	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正に必要な眼鏡処方に関する知識を学ぶ。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	眼鏡処方(成人・学齢期・乳児)、眼鏡処方(二重焦点・累進)、プリズム処方
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	症例に合わせた眼鏡処方ができる。 眼位・視力の発達を考慮した処方ができる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	すぐに役立つ臨床で学ぶ 眼鏡処方の実際(金原出版)、視能学 第3版(文光堂)、眼鏡・コンタクトレンズ処方ハンドブック(三輪書店)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	屈折と調節(復習)
2	眼鏡処方 (単焦点)	・眼鏡処方(単焦点)のレンズ選択
3		・コンタクト度数
4		・レンズの縮小と拡大 ・不等像視が及ぼす影響
5		・輻湊角 ・心とり点間距離
6		・プリズム効果
7		眼鏡処方 (二重焦点・累進)
8	・累進屈折眼鏡と二重焦点眼鏡の処方	
9	眼鏡処方 (学齢期・乳児)	・学齢期と乳児の眼鏡処方
10	眼鏡処方(プリズム)	・プリズム処方(膜プリズムの貼り方とプリズム合成)
11		・プリズム処方(膜プリズムの貼り方とプリズム合成)
12		・プリズムによる網膜像の変化
13	眼鏡処方の実際	・眼疾患と屈折
14		・Knappの法則 ・見かけの調節力 ・Abbe数
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

科目名	基礎視能矯正学3(症例検討)	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	検査データをもとにどのような疾患か検討し、臨地実習などで、いろいろなデータを見て症例を予測できるようにする
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	検査データをもとに症例を検討していく
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	検査データから症例を把握することができる
授業担当者	佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

## コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	授業のながれ	症例検討について説明、ながれ
2	症例検討	データをもとに症例検討していく
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	基礎視能矯正学4	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	総合的に視能訓練を構築できるか学習する
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	視能矯正の理念、歴史など視能矯正の枠組みについて学習する。また、系統的な視能矯正を構築できる能力を養う。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	視能矯正の理念が理解できる。 問題指向型医療を説明できる。 インフォームドコンセントとは何か説明できる。
授業担当者	佐野智久 星野貴大	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1,2	視能矯正について	視能矯正の基礎について学ぶ
3,4	視覚障害について	視覚障害の基礎について学ぶ
5,6	検査の組み立て	眼科の基本検査の検査の組み立て方を学ぶ
7,8	検査の組み立て	視野検査の検査の組み立て方を学ぶ
9,10	検査の組み立て	眼位、眼球運動検査の組み立て方を学ぶ
11,12	検査の組み立て	両眼視機能検査の組み立て方を学ぶ
13,14	インフォームドコンセント	インフォームドコンセントについて学ぶ
15,16	総合的視能矯正	先天的疾患についての視能矯正を学ぶ
17,18	総合的視能矯正	後天的疾患についての視能矯正を学ぶ
19,20	総合的視能矯正	弱視疾患についての視能矯正を学ぶ
21,22	総合的視能矯正	斜視疾患についての視能矯正を学ぶ
23,24	総合的視能矯正	病名からどのような視能矯正が必要かを学ぶ
25,26	総合的視能矯正	眼の状態からどのような視能矯正が必要かを学ぶ
27,28	系統的視能矯正	眼科疾患からの検査の組み立て方を学ぶ
29,30	まとめ	本授業のまとめを行う

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視覚生理学2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	眼の光学系、視覚伝導系、運動系からなる視覚系および電気生理について学び、視能訓練士として必要な知識を身につける。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	視覚は、眼の光学系・視覚伝達系及び目の運動系(眼球運動・瞳孔運動・調節・開閉運動)からなり、脳で統合される情報処理機構であることを統合的に理解し、視覚経路の生理・解剖、視覚生理学の基礎を学習する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視力と網膜の関係について説明できる</li> <li>・色の知覚、異常について説明できる</li> <li>・視路と視野の関係を説明できる</li> <li>・視野、視野異常について説明できる</li> <li>・明順応、暗順応について説明できる</li> </ul>
授業担当者	星野 貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第2版(文光堂)、眼科検査ガイド第2版(文光堂)	
評価方法	筆記試験	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	視覚生理1の復習	1年次の視覚生理の復習
2		
3	視野	視野異常の仕組みについて学ぶ。
4		視野異常を呈する疾患について学ぶ。
5		視野異常を呈する疾患について学ぶ。
6		眼底と視野の関係について学ぶ。
7		異常視野の検査方法について学ぶ。
8	視力・形態覚	視力低下・視野異常を起こす疾患と検査法について学ぶ。
9	色覚・光覚	色覚の検査法を学ぶ。
10	眼科における 電気生理検査	電気生理の基礎知識について学ぶ。
11		電気生理検査法(ERG)について学ぶ。
12		電気生理検査法(VEP・EOG)について学ぶ。
13		電気生理検査法(ENG・EMG)について学ぶ。
14	総復習	本講義のまとめを行う。
15	筆記試験と解答解説	筆記試験での知識の確認と解答・解説を行う。

科目名	視能検査学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・眼科医師や視能訓練士が関わる眼科一般検査を学ぶ。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・種々の眼科一般検査の原理と目的を学習する。また、それぞれの機器の検査結果の分析、評価の方法を学ぶ。また、検査結果から眼疾病を同定できる専門的知識の理解を身につける。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・種々の眼科検査の原理と機能を理解する。 ・眼科の専門職としての自覚と、職業倫理を理解する。 ・結果の分析から眼疾病を同定する理論を理解する。
授業担当者	佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)・眼科検査ガイド(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席率、筆記試験による総合評価とする。	

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	涙液検査	シルマー試験・綿糸法
2	眼圧検査	NCT・トノペン
3	眼底写真撮影	無散瞳カメラ・散瞳カメラ
4	眼底画像検査 FA,IA,AF	FA,IA,AF
5	超音波検査	Aモード・Bモード
6	角膜内皮検査	スペキュラーマイクロスコープ
7	細隙灯顕微鏡検査	フレアメーター
8	OCT	OCT
9	外眼部検査	瞼裂幅測定・眼瞼挙筋検査・眼球突出検査
10	涙液検査	涙液メニスカス・BUT検査
11	細隙灯顕微鏡検査	細隙灯顕微鏡検査
12	隅角検査	細隙灯顕微鏡検査
13	隅角検査	前眼部OCT・UBM
14	眼圧検査	アイケア
15	眼圧検査	Goldman
16	眼底検査	倒像鏡・直像鏡・細隙灯顕微鏡検査
17	眼窩画像検査	X線・CT・MRI
18	外眼部写真検査	外眼部写真撮影
19	角膜検査	ケラト・プラチド円板・フォトケラト
20	角膜検査	前眼部OCT
21	眼底写真撮影	散瞳カメラ・手持眼底カメラ
22	眼底画像検査 FA,IA,AF	散瞳眼底カメラ
23	眼底画像検査 OCT	OCT
24	眼底画像検査 OCT	OCT
25	眼底画像検査 OCT	OCTA
26	眼軸長検査	Aモード
27	眼軸長検査	非接触検査
28	検査機器全般について	検査機器の規格・安全管理
29	まとめ	全体の振り返り
30	定期試験 解答解説	定期試験と解答解説

科目名	視能検査学演習	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・グループでの演習により視能検査学で学んだ検査の測定法について学ぶ。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	・視能訓練士が行う眼科一般検査を中心に知識・技術を学習し、グループでの演習により実践的な技能を身につける。 また、検査結果の適切な評価の仕方も修得する。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・眼科一般検査の説明ができる。 ・眼科一般検査を実際に行うことができる。 ・結果を分析することができる。
授業担当者	☆太田 陸 星野貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	実技試験、筆記試験で評価する。	

コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	(講義) OCT 調節機能検査 涙液検査 眼圧検査	Aグループ:OCT Bグループ:調節機能検査、涙液検査、眼圧検査
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	(講義) 眼底写真撮影 超音波検査 レーザーフレアメータ 角膜内皮細胞測定	Aグループ:眼底写真撮影 Bグループ:超音波検査、視力検査
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17	(実技) 眼底写真撮影 調節機能検査 OCT 超音波検査	ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等しっかり行うこと。  29コマ目までにレポートを提出(レポートが未提出の場合、実技試験は受験不可となります。)  実技チェック ①眼圧検査、角膜内皮検査 ②OCT、眼底写真撮影
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31	筆記試験	筆記試験を行う。その後まとめ。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視覚生理学演習	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視覚生理学的な種々の検査を演習し、実践力と評価方法の修得を目的とする。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・視覚生理学的な種々の検査を演習し、実践力と評価の仕方を修得する。 ・電気生理学的検査の理論と実践、評価の方法を学習する。特殊な視力検査の方法と評価を学習する。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・異常のある視野測定ができる。 ・特殊な視力測定の方法と評価の仕方を理解する。 ・電気生理学的検査の評価が出来る。
授業担当者	☆太田 陸 星野貴大	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第2版(文光堂)、眼科検査ガイド第2版(文光堂)	
評価方法	演習の習得、授業態度で総合的に評価	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1,2	特殊な視力検査	乳幼児の視力検査について学ぶ。
3,4		近見視力検査について学ぶ
5,6		コントラスト感度について学ぶ。
7,8	色覚検査	仮性同色表について学ぶ
9,10		色相配列検査、アノマロスコープについて学ぶ
11,12,13,14	静的視野測定	静的視野測定について学ぶ。
15,16	中心視野検査・ 中心フリッカ試験	中心視野検査、フリッカ試験について学ぶ。
17,18,19,20	動的量的視野検査	正常者の動的視野検査について学ぶ。
21,22,23,24		異常視野の動的視野検査について学ぶ。
25,26,27,28	電気生理検査	ERGについて学ぶ。
29,30	実技試験	実技試験を行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	神経眼科学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	神経眼科の解剖基礎より疾患までを理解する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	脳神経の構造と視路及び眼球運動経路の解剖・生理を理解し、視交叉より末梢の視路障害、核上性障害、視神経・外側膝状体・皮質障害に関して学習する。 対光反射の経路を理解し、主訴や検査より疾患へと繋げることができる。講義の中で、実際に瞳孔を観察し理解を深める。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	神経眼科の解剖基礎より疾患までを理解する。 対光反射の経路を理解し瞳孔における疾患を理解する。 核上性疾患・核下性疾患を経路と共に理解する。 視神経疾患を理解する。
授業担当者	飯田 文人	
実務家教員	○	医師(眼科専門医)として臨床における実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)	
評価方法	授業態度、出席状況および筆記試験の成績で総合評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1,2	瞳孔について	瞳孔基礎と解剖、対光反射について学ぶ
3,4	瞳孔について	瞳孔疾患について学ぶ
5,6	核上性の基礎	核上性の基礎について学ぶ
7,8	核上性の基礎	核上性の解剖について学ぶ
9,10	核上性の疾患	核上性の水平眼球運動の解剖、疾患について学ぶ
11,12	核上性の疾患	核上性の垂直眼球運動の解剖、疾患について学ぶ
13,14	視神経について	視神経の基礎と解剖について学ぶ・視神経疾患について学ぶ
15	テストと解答解説	テストと解答解説を行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	眼疾病学各論1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・眼科における眼疾患と全身病に伴う眼症状について学習する。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	・眼科的疾患及び眼科関連全身疾患について解剖学的部位に系統立てて学習し、視能訓練士の業務を理論的に理解できるようにする。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・眼疾患における原因、症状、所見、必要な検査と結果、治療を総合的な知識として習得する。
授業担当者	中嶋 茂雄	
実務家教員	○	診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)・標準眼科学 第14版(医学書院)	
評価方法	筆記試験	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1.2	眼瞼	眼瞼下垂、眼瞼内反、兔眼、麦粒腫、霰粒腫、睫毛乱生
3.4	涙器	鼻涙管閉塞、涙囊炎、涙腺炎、涙液分泌減少症、眼乾燥症
5.6	結膜	結膜炎、翼状片
7.8	角膜・強膜	角膜炎、角膜症、角膜感染症、角膜ジストロフィ、円錐角膜、角膜白斑、老人環、強膜炎
9.1	水晶体	白内障、水晶体位置異常
11.12	緑内障	原発開放隅角緑内障・正常眼圧緑内障、原発閉塞隅角緑内障、急性緑内障発作、発達緑内障
13.14	ぶどう膜①	ぶどう膜炎、虹彩毛様体炎、ペーチェット病
15.16	ぶどう膜②	原田病、交感性、眼炎、ぶどう膜の先天異常
17.18	網膜の総論	網膜の解剖、検査、異常所見、治療
19.20	網膜の各論 I	網膜の変性、黄斑疾患
21.22	網膜の各論 II	RD、小児眼底疾患
23.24	眼窩疾患	眼窩の解剖・検査・異常所見・治療
25.26	眼外傷と眼科救急、プライマリケア	異物・裂傷・外傷や救急疾患
27.28	全身病と目	全身病とそれに伴う眼疾患
29.30	テストと解答解説	テストと解答解説を行う。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	弱視・斜視訓練学	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能訓練士として弱視・斜視の訓練に必要な検査方法および訓練法の理論を理解ことを目的とする。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・弱視・斜視の訓練に必要な検査方法および訓練法の理論と実践を学ぶ。 ・光学的矯正方法、大型弱視鏡による訓練、大型弱視鏡以外の訓練と検査法の理論を理解する。
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・光学的治療法の理論が理解できる。 ・種々の遮閉法の理論と方法が理解できる。 ・大型弱視鏡による訓練法が理解できる。 ・固視異常の訓練法が理解できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学第2版(文光堂)、視能矯正学第3版(金原出版)	
評価方法	授業態度、出席率、筆記試験による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1,2	斜視の基礎知識	斜視の定義、病因について学ぶ。
3,4		斜視の分類について学ぶ。
5,6	眼位検査	単眼性眼位検査について学ぶ。
7,8		両眼性眼位検査について学ぶ。
9,10	両眼視機能検査	立体視検査について学ぶ。
11,12		大型弱視鏡検査について学ぶ。
13,14		その他両眼視機能検査について学ぶ。
15,16	眼球運動検査	視診による眼球運動検査について学ぶ。
17,18		Hess赤緑試験について学ぶ。
19,20		大型弱視鏡検査における9方向眼位について学ぶ。
21,22	斜視の光学矯正	斜視と屈折異常について学ぶ。
23,24		斜視とプリズムについて学ぶ。
25,26	斜視視能矯正	大型弱視鏡による視能訓練について学ぶ。
27,28		大型弱視鏡以外の視能訓練について学ぶ。
29	筆記試験	筆記試験を行う。
30	病院見学	斜視手術を行っている施設を見学し、斜視治療について学ぶ。

科目名	視能矯正学1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	感覚系検査の種類、原理、評価を理解し、実際の検査に繋げる。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	網膜対応検査を両眼中心窩、中心窩と道ずれ領の関係性を評価する方法に分類して学ぶ。 立体視検査を両眼分離方法から、その種類、特徴、検査方法、評価方法を学ぶ。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	網膜正常対応と網膜異常対応を理解し、検査、評価できる。 立体視検査の原理と評価方法を学び、患者に合わせた検査を選択できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、 視能矯正マニュアル 改訂版(メディカル葵出版)	
評価方法	定期試験(筆記試験)で評価する	

コマシラバス

90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	バナムの融像感覚圏 正常両眼視の成立条件
2	網膜対応検査	網膜対応の種類と定義 正常網膜対応と網膜対応異常を理解する。
3		網膜対応検査の種類と評価 ・バゴリニ線状レンズ試験
4		網膜対応検査の種類と評価 ・バゴリニ線状レンズ試験
5		網膜対応検査の種類と評価 ・赤ガラス試験 ・ワース4灯試験
6		網膜対応検査の種類と評価 ・陰性残像試験 ・陽性残像試験
7		網膜対応検査の種類と評価 ・残像ひきとり試験 ・両眼ビズスコープ試験
8		網膜対応検査の種類と評価 ・位相差ハプロスコープ試験 ・ポラテスト ・プリズム順応試験
9		網膜対応検査の種類と評価 ・大型弱視鏡
10		立体視検査
11	立体視検査の種類と評価 ・実在立体視	
12	立体視検査の種類と評価 ・半円柱回折格子、セクター、鏡筒を用いた検査	
13	立体視検査の種類と評価 ・偏光眼鏡を用いた検査	
14	立体視検査の種類と評価 ・赤緑眼鏡を用いた検査	
15	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視能訓練学演習1	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	視能矯正分野における、診断と経過観察に必要な検査を習得する。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	前期	大型弱視鏡・プリズムによる9方向眼位検査、 眼球運動検査、融像検査、4プリズム基底外方試験、マドックスを用いた検査の正常と異常を学ぶ。
授業回数	31回	
授業形態	演習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	各検査の対象・検査手順を理解し、正常と異常を判断できる。
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第3版(文光堂)、視能矯正学 第3版(金原出版)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)	
評価方法	定期試験(筆記試験・実技試験)で評価する	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	復習	Aグループ: 大型弱視鏡(復習)
2		Bグループ: 遮閉試験(復習)
3	9方向眼位検査 (講義・練習)	Aグループ: 大型弱視鏡(9方向眼位) Bグループ: 遮閉試験(9方向眼位)
4		
5		
6		
7		ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。
8		
9	融像、抑制検査 眼球運動検査 (講義・練習)	Aグループ: 融像幅の測定(プリズム)、4プリズム基底外方試験 Bグループ: 9方向眼位写真、診断的むき眼位
10		
11		
12		
13		
14		ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。
15		
16		
17	AC/A比の測定 マドックス検査 ガンマ角検査 (講義・練習)	Aグループ: AC/A比 Bグループ: ガンマ角(マドックス正切尺、大型弱視鏡)、マドックス検査(Double maddox test など)
18		
19		
20		
21		
22		ペアで互いの検査を行う。 ※常に眼科外来を想定しての実習となるため、言葉使い、患者説明等をしっかり行うこと。 <b>29コマ目の開始時にレポートを提出(レポートが未提出の場合は実技試験は受験不可となります。)</b> <b>※23～28コマで1人15分を目安に実技チェックを行います。</b>
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	実技試験	実技試験にて実技の確認、講評
30		
31	定期試験と解答解説	筆記試験にて知識の確認・解答解説

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	視能訓練学演習2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	・斜視弱視の患児を想定し、問診から検査、疾患予測、治療、訓練を一連の流れで考えることができるようにする。 また、清潔不潔の概念、車椅子操作、認知力低下についての知識を深める。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	・眼科チームの一員として視能訓練を行うスキルを身につける。また、視能訓練士として必要な感染症に対する対応と救急対応についても学習する。実際の現場を想定したロールプレイ演習を行うことによって理解を深める。
授業回数	30回	
授業形態	演習	授業終了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	・今まで個々に習得した検査や訓練の技術を総合することが出来る。 ・ロールプレイを通して患者の立場、視能訓練士の立場、他の医療スタッフの立場を体験する。 ・ロールプレイを見て総合的な評価をすることができる。
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能学 第2版(文光堂)	
評価方法	レポート提出、演習態度	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	視能訓練学演習2の説明	グループ分けと症例の提示
2	清潔不潔の概念	感染症の予防の観点からの手洗い、器具の消毒
3		
4		
5	斜視・弱視患者のロールプレイ	提示された症例から必要な検査を考える
6	弱視患者のロールプレイ①	必要な検査を演習
7		
8		
9	弱視患者のロールプレイ②	検査結果から疾患を絞る
10	弱視患者のロールプレイ③	治療・訓練を考察
11		
12		
13	弱視患者のロールプレイ④	まとめ・カルテ整理
14	車椅子①	視能訓練士に必要な車椅子の理論
15		
16		
17	車椅子②	視能訓練士に必要な車椅子の操作
18	認知力の低下①	認知力低下者の理論
19		
20		
21	認知力の低下②	認知力低下者のロールプレイ
22	斜視患者のロールプレイ①	必要な検査を演習
23		
24		
25	斜視患者のロールプレイ②	検査結果から疾患を絞る
26	斜視患者のロールプレイ③	治療・訓練を考察
27		
28		
29	斜視患者のロールプレイ④	まとめ・カルテ整理
30		



--	--	--

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	臨地実習2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	医療現場において、基本的なマナーを実践し、視能訓練士として必要な知識・技術を理解し習得する 視能訓練士として必ず習得しておかなければならない基本的事項を学習する
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	各施設において、眼科診察の検査、接遇、チーム医療について実践的に学ぶ
授業回数	6日(35時間)	
授業形態	学外実習	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	1単位	現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける 学内での授業、学習を復習しながら、医療現場で実践的に学ぶ
授業担当者	鈴木 ほまれ 佐野 智久 太田 陸 星野 貴大	
実務家教員	○	大学病院・総合病院における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献		
評価方法	実習評価表をもとに事前事後指導・巡回時の様子など、総合的に判断する。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
	臨地実習	総合病院や医院等、様々な施設を経験することにより、疾患やシステムの違い等を学ぶ。 問診、検査指示、検査結果、治療の流れを学ぶ。 検査技術のみでなく、コミュニケーションスキルとしての話術も学ぶ。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	ゼミナール2	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	科目分類を行うことで国家試験勉強の土台を築く。 学生調書を作成することで臨地実習に備える。
学年	2学年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	通年	国家試験過去問題の科目分類、学生調書の作成
授業回数	30回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	4単位	科目分類を行うことで、科目を意識して学習し、系統的に学ぶことができるようになる。 学生調書の作成することで、臨地実習での各自の到達目標を明確にし、自分の言葉で説明できるようになる。
授業担当者	佐野 智久	
実務家教員	○	総合病院・診療所における視能訓練士としての実務経験
使用テキスト 参考文献	視能訓練士 国家試験 第48回～第52回、視能学第3版	
評価方法		
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	オリエンテーション	1年間の流れを把握し、情報共有を行う。
2	国家試験対策	国家試験過去問題から出題傾向を分析する。
3		国家試験過去問題から出題傾向を分析する。
4		国家試験過去問題から出題傾向を分析する。
5		国家試験過去問題から出題傾向を分析する。
6		国家試験過去問題を分類することで、効果的な学習へ繋げる。
7		国家試験過去問題を分類することで、効果的な学習へ繋げる。
8		国家試験過去問題を分類することで、効果的な学習へ繋げる。
9		国家試験過去問題を分類することで、効果的な学習へ繋げる。
10		解答解説の効果的な方法を考える。(復習)
11		臨地実習準備
12	学生調書を作成する。	
13	学生調書を作成する。	
14	学生調書を作成する。	

15		前期のまとめ
16	臨地実習準備	ケーススタディを通して、想定される問題の解決方法を考える。
17		ケーススタディを通して、想定される問題の解決方法を考える。
18		フローチャート作りを通して、学内で学んだ検査手技を確認する。
19		フローチャート作りを通して、学内で学んだ検査手技を確認する。
20		目的、到達目標を自分の言葉で表現する。
21	就職支援	求人票の見方、就職活動の流れを理解する。
22		就職試験に必要な知識(SPI、一般常識試験)について知る。
23		模擬就職活動を通して、優先順位を明確にする。
24		模擬就職活動を通して、優先順位を明確にする。
25		履歴書作成のため、自己分析シートを作成する。
26		履歴書作成のため、自己分析シートを作成する。
27		履歴書作成のため、自己分析シートを作成する。
28		履歴書(模擬)を作成する。
29		履歴書(模擬)を作成する。
30		履歴書(模擬)を作成する。

シラバスデータ		2023/4/1
科目名	就職指導	
年度	2023年度	授業の目的・ねらい
学科	視能訓練士学科	① 自分自身を客観的に知り、表現する方法を見つける。 ② 就職に必要な知識を養う。
学年	2年	
コース	—	授業全体の内容の概要
開講時期	後期	就職活動は自分の仕事を中心とした人生(将来)を考え、設計する為の重要な役割を果たし、自己実現に向けた第一歩であることを理解させる。自己を知り、敵(企業などの就職先)を知って、いかに自分を高く売り込めるかを学ばせる。「講義」は与えられたものとして受け止めるのではなく、自分自身のものとして理解し実施していこうとする学習姿勢を重要視する。
授業回数	15回	
授業形態	講義	授業修了時の達成課題(到達目標)
取得単位数	2単位	本授業では、「就職」というゴールに加え、学生が「キャリア自律」について理解することを目標とする。
授業担当者	原木 伴美	
実務家教員	×	
使用テキスト 参考文献	社会人基礎力が身につくキャリアデザインブック(自己理解編・社会理解編)、イラスト図解! 就職ワークブック、就職成功へのステップ	
評価方法	授業態度、出席率、課題提出による総合評価とする。	
コマシラバス		
90分/コマ	テーマ	内容
1	授業オリエン	マズローの5段階説から『働く』ということのイメージ付けと、意味を理解する。 自分の将来像をマインドマップを使って書いてみよう。
2	キャリアについて理解しよう	自分史を作ろう(今までの自分の人生と学校生活を振り返り、身に着けてきたことを理解しよう。)
3	自己理解	自分のウリを探そう(自分のウリから「キーワード」を見つけ出そう)
4	自己理解	自分についてまとめよう(自分の長所・短所について知ってまとめよう)
5	仕事理解	社会基礎力について理解し、自分の長所を活かせる仕事・職場とはどんなところかを理解しよう。 企業研究のやり方を学ぼう。
6	自己表現に向けて～文章を書いてみよう～	履歴書の書き方を学び練習しよう
7	自己表現に向けて～文章を書いてみよう～	履歴書の書き方を学び練習しよう
8	自己表現に向けて～面接対策①～	履歴書作成、面接での立ち居振る舞いや受け答えの練習をしよう。
9	自己表現に向けて～面接対策②～	模擬面接練習をしよう。
10	自己表現に向けて～面接対策③～	面接の得意・不得意を理解して、対策を考えよう。
11	就職活動について	ジョブカードの作成を活用方法について学ぼう
12	グループワーク	社会人基礎力を身につける①～〇〇さんってどんな人?～
13	内定をもらったら	内定礼状の書き方と、内定後の過ごし方構えについて学ぼう
14	グループワーク	社会人基礎力を身につける①～コンセンサス実習「NASAゲーム」～
15	まとめ	社会に出るために必要なことは?